※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　外国語科

科目	**韓国朝鮮語文化理解Ａ**	単位数	1
使用教科書	なし		
副教材等	サラムあそび編　こどもと暮らし(ブレーンセンター)		
レポート	３通		
必要出席回数	４回		
テスト	なし		

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

朝鮮半島にある二つの国は日本から一番近い国です。醤油や味噌を使った料理や祖先を敬う慣習など日本と似ているところがたくさんあります。スクーリングでは、そんな朝鮮半島の文化や歴史、時事問題などについて学びます。韓国朝鮮語文化理解や初級会話を履修していなくても学べる科目です。
日本語でスクーリングを行います。映像資料や映画を通じた学習を行います。
レポート付属の参照プリントや教科書を中心に自学自習を進めます。試験はありません。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第2学次】履修科目:「韓国朝鮮語文化理解」(2単位)
主な教材:上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・韓国朝鮮の伝統音楽を聴きその音調やリズムを日本の音楽と比べることができる。 ・調べ学習における映像資料の内容を聞き取ることができる。	・日本語で書かれた韓国朝鮮の歴史、文化、風習などについての読み物や、参照プリント、教科書の中から要点を絞って読み解くことができる。	・韓国朝鮮の文化について理解し、自分なりの意見をもって日本語で話すことができる。	・韓国朝鮮の文化について理解し、自分なりの意見をもって日本語で話すことができる。	・韓国朝鮮の文化について理解し、自分なりの意見をもって日本語で書くことができる。 ・教科書や参照プリントを元に、的確にレポートの設問に答えることができる。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	レポート学習による記述の確認及び分析ができることや調べ学習による知識を定着させる。	・レポート学習による記述の確認及び分析ができることや調べ学習による知識を定着させる。また面接指導によって知った異文化への理解を深め、それを表現している。	自ら、進んで調べ学習に取り組み、その結果をレポートを通じてプレゼンテーションできている。 提出目標期限までにレポートを提出する。

- 学習指導要領(第１章第７款の４)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	朝鮮半島の文化を知ろう ・韓国朝鮮の地形 ・分断国家 ・言語文化 ・食文化と食習慣 ・韓国現代音楽史 ・生活と儒教 ・ペギルとトル ・葬儀と結婚	聞くこと	a.　韓国朝鮮の伝統音楽を聴き日本の音楽と比べることができる。 b.　韓国朝鮮の伝統音楽を聴き日本の音楽と比べている。 c.　韓国朝鮮の伝統音楽を聴き日本の音楽と比べようとしている。	レポート スクーリング
		読むこと	a.　韓国朝鮮の文化についての読み物などから要点を絞って読み解くことができる。 b.　韓国朝鮮の文化についての読み物などから要点を絞ることができる。 c.　韓国朝鮮の文化についての読み物などから要点を絞ろうとしている。	レポート スクーリング
		話すこと （やり取り）	a.　韓国朝鮮の文化について理解し、自分なりの意見をもって日本語で話すことができる。 b.　韓国朝鮮の文化について理解し、日本語で話すことができる。 c.　韓国朝鮮の文化について理解し、日本語で話そうとしている。	レポート スクーリング
		話すこと （発表）	a.　韓国朝鮮の文化について理解し、自分なりの意見をもって日本語で話すことができる。 b.　韓国朝鮮の文化について理解し、日本語で話すことができる。 c.　韓国朝鮮の文化について理解し、日本語で話そうとしている。	レポート スクーリング
		書くこと	a.　韓国朝鮮の文化について理解し、自分なりの意見をもって日本語で書くことができる。 b.　韓国朝鮮の文化について理解し、日本語で書くことができる。 c.　韓国朝鮮の文化について理解し、日本語で書こうとしている。	レポート スクーリング

※　表中の観点について：a:知識・技能、b:思考・判断・表現、c:主体的に学習に取り組む態度